

週 報

日本基督教団 翠ヶ丘教会

since 1964

2026 年度年間聖句

「主は人の一步一步を定め
御旨にかなう道を備えてくださる。」
(詩編 37 編 23 節)



どなたにも開かれている定期集会

主日礼拝 毎日曜日 午前 10 時半
子どもの教会 毎日曜日 午前 9 時 ～10 時
祈 祷 会 各水曜日
○昼の聖書研究祈禱会
(第3・午後2時)
●夕の祈禱会
(第2、第4・午後7時)

牧 師 井 殿 準

〒 252-0312 相模原市南区相南 2-25-65

TEL. 042-742-1593

FAX. 042-742-1393

ホームページ: <http://www.midorigaoka.jp>

郵便振替口座 日本基督教団翠ヶ丘教会 本会計

00290-4-80707

3226 2026 年 9 月 13 日

礼 拝 式 順 序

(聖霊降臨節第 17 主日)

司式者 井 殿 準

奏楽者 黒 田 理 佳

前 奏	奏 楽 者
招 詞 詩編 95 : 1 ~ 3	司 式 者
讃 美 歌 1 3 「みつかいとともに」	一 同
聖 書 II コリント 9 : 6 ~ 1 5 (新 P. 335)	司 式 者
使徒信条 (9 3 - 4 - A)	一 同
祈 祷	司 式 者
讃 美 歌 1 6 6 「主は、わたしを究め」	一 同
説 教 「慈しみが結ぶ実を」	司 式 者
祈 祷	”
讃 美 歌 5 1 3 「主は命を」	一 同
献 金	”
主の祈り (9 3 - 5 - A)	”
頌 栄 2 8 「み栄えあれや」	”
祝 祷	司 式 者
答 唱 4 0 - 6 「アーメン」	一 同
～「主の平和を」と、祈りを込めて隣席の方々と挨拶を交わしましょう～	
報 告	司 式 者
讃 美 歌 9 1 「神の恵みゆたかに受け」	一 同

- ・当教会では讃美歌 21 と新共同訳聖書を使用しています。お持ちでない方は受付に常備されているものをご使用ください。
- ・立ち座りのご不自由な方はどうぞ着席のままお臨みください。
- ・FM電波による補聴器が用意されています。受付に常備してありますのでご利用ください。
- ・マスクの着用は個人の判断にお任せいたします。ご心配な方はマスクを着用してください。

先週の説教要旨

「十字架は塩味？」

(マルコ 9 : 4 2 ~ 5 0)

主イエスは、「もし片方の手があなたをつまづかせらるなら、切り捨ててしまいなさい。両手がそろったまま地獄の消えない火の中に落ちるよりは、片手になっても命にあずかる方が良い」とおっしゃる。しかし、神の裁きに堪え得る人間など、一人もいない。罪を犯す度に、自分の体を切ったり、えぐったりしていたら、我々の体はすっかり無くなってしまいうに違いない。また、切ったり、えぐったりしていれば神の国に入れるのか？とえば、それも否であろう。

49 節に、「人は皆、火で塩味を付けられる」と記されている。我々は皆、神の裁きの火で焼かれなければならない一人一人であるが、神は、その怒りの炎を我々の上に下すのではなく、ゴルゴダの丘に立てられたあの十字架の上にいらっしゃる主イエス・キリストの上に下された。こうして、主が我々の身替わりとなって、神の怒りの炎、裁きの炎に焼かれてくださったが故に、我々は、滅びに陥ることなく、赦しを得、命を得ている。そうやって、我々は、主イエスの十字架によって塩味を付けられているのだ。

「塩は良いものである」「自分自身の内に塩を持ちなさい」と語りつつ、最後に主イエスは「互いに平和に過ごしなさい」と教える。今日の聖書の箇所先だって、「誰が一番偉いのか？」と言い争ったり (9 : 34)、「我々は多くの犠牲を払って主イエスに従っている。水を一杯差し出しただけの者とは違う」と高ぶる弟子たちの姿が描かれていたが (9:41)、「そうやって争うのではなく、水が必要な人にコップ一杯の水を差し出して微笑み合うことの方が、平和に近いのではないのか？」「その方が神の国の喜びをより指し示しているということになりはしないか？」「わたしの十字架の恵みを通して塩味を付けられた者に相応しく、互いに平和に過ごす歩みへと踏み出して行きなさい」と主はおっしゃるのだ。

この呼びかけに応えて、我々は、裁きの炎に焼かれることを免れ、神の国へと招かれている恵みをおぼえつつ、福音の喜び (塩) を胸に、互いに平和に過ごす、塩味がしみ出て行くような生き方を続けて行こう。